鹿児島県看護職員修学資金の手引

学校養成所名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

貸与決定年月日　　年　　月　　日

貸与決定番号　　第　　号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この手引には、貸与中及び貸与終了（学校養成所卒業）後に県に提出する書類の様式が入っています。

修学生が、修学資金の返還免除等を受けるためには、自ら申請・届出を行う必要があり、手続きを行わなければ、返還していただくことになりますので、修学資金の目的や、制度をよく理解し、所定の時期に必要な手続きを必ず行ってください。

この手引は、返還免除の決定または返還完了となるまで、大切に保管してください。

令和８年１０月

鹿児島県保健福祉部

医師・看護人材課

目　　　　次

1　修学生の皆さんへ　…………………………………… 1～4

2　修学生の資金に係る手続きフロー図　………………… 5

3　各種手続き・届出について　…………………………… 6～10

4　提出書類一覧表　………………………………………… 11～12

5　各種様式及び記入例　…………………………………… 13～38

・第４号様式　修学資金借用証書　…………………………… 13
・第５号様式　看護職員修学資金等返還免除申請書　……………… 15
・第６号様式　看護職員修学資金等返還明細書　………………… 17
・第７号様式　看護職員修学資金等返還猶予申請書　……………… 19
・別紙第１号　口座登録申出書　……………………………… 21
・別紙第２号　住所・氏名変更届　…………………………… 23
・別紙第３号　休学等届　……………………………………… 25
・別紙第４号　保証人変更届　………………………………… 27
・別紙第５号　看護職員業務開始届　………………………… 29
・別紙第６号　看護職員就業場所変更届　……………………… 31
・別紙第７号　看護職員修学資金等貸与辞退届　………………… 33
・別紙第８号　看護職員就業届　……………………………… 35
・別紙第９号　在職証明書　…………………………………… 37
・別紙第 10 号　看護職員業務中止届　………………………… 39

6　おぼえ及び修学資金受領覚え　…………………………… 41～42

修 学 生 の 皆 さ ん へ

1　鹿児島県看護職員修学資金等貸与の目的・内容

「鹿児島県看護職員修学資金」は、県内の看護職員の確保、定着及び質の向上を図るため、県内の看護職員の確保が困難な施設等において、将来看護職員として就業しようとする看護師等学校養成所の学生に対し、修学資金を貸与するものです。
また、「鹿児島県看護職員特別修学資金」は、看護職員の地域的偏在を解消するため、鹿児島市以外の看護職員の確保が困難な施設等において、将来看護職員として就業しようとする学生に対し、看護職員特別修学資金を貸与するものです。

2　修学資金の概要

(1) 貸与条件

ア　看護職員修学資金

対　　象	卒業後、直ちに県内の(2)対象施設に就業しようとする者
就業義務年限	５年以上

イ　看護職員特別修学資金

対　　象	卒業後、直ちに県内（鹿児島市を除く）の(2)対象施設に助産師又は看護師として就業しようとする者
就業義務年限	３年以上

(2) 対象施設

看護職員修学資金	看護職員特別修学資金
【すべての職種で共通】 ・200 床未満の病院 ・精神病床数が全病床数の 80%以上を占める病院 ・離島の病院 ・国立ハンセン病療養所 ・診療所 ・医療型障害児入所施設 ・指定発達支援医療機関（※１） ・母子健康包括支援センター（※２） ・介護老人保健施設（※３） ・介護医療院 ・訪問看護に係る居宅サービス事業を行う事業所 ＊上記施設を「対象施設等」という。	【助産師】 ・病院 ・診療所 ・母子健康包括支援センター 【看護師】 ・左欄の施設と同じ

※１：独立行政法人国立病院機構の設置するものに限る。

※２：助産師の業務に限る。

※３：介護保険法第８条第 28 項に規定する介護老人保健施設に限る。（指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は対象外）。

(3) 貸付金額等

ア　看護職員修学資金

職　種	区　分		貸与月額
助　産　師	養成所、大学	国公立(※)	32,000 円
		民　間　立	50,000 円
	大学院修士課程		83,000 円
看　護　師	養成所、高校、大学	国公立(※)	32,000 円
		民　間　立	36,000 円
准看護師	養成所、高校	国公立(※)	15,000 円
		民　間　立	21,000 円

（※国立大学法人及び公立大学法人を含む。）

イ　看護職員特別修学資金

職　種	区　分		貸与月額
助　産　師	養成所	国公立(※) 民　間　立	50,000 円
	大学	国公立(※) 民　間　立	60,000 円
	大学院修士課程		83,000 円
看　護　師	養成所	国公立(※)	32,000 円
		民　間　立	36,000 円

（※国立大学法人及び公立大学法人を含む。）

(4) 貸与期間

ア　看護職員修学資金（すべての職種共通）

当該修学資金貸与契約に定められた月から卒業の日の属する月まで

イ　看護職員特別修学資金

(ｱ) 助産師

当該修学資金貸与契約に定められた月から起算して１年間

(ｲ) 看護師

当該修学資金貸与契約に定められた月から卒業の日の属する月まで

(5) 貸与契約の解除及び貸与の休止

ア　貸与契約の解除

次のいずれかに該当した場合、貸与契約を解除します。

- 退学したとき
- 心身の故障のため修学の見込がなくなったと認められるとき
- 学業成績が著しく不良となったと認められるとき
- 各修学資金の貸与を受けることを辞退したとき
- 死亡したとき
- その他各修学資金の貸与の目的を達成する見込がなくなったと認められるとき

イ　貸与の休止

次のいずれかに該当した場合、その期間貸与を休止します。

- 休学したとき
- 停学の処分を受けたとき
- 進学できなかったこと等により同一学年の課程を再度履修する事実があったとき

(6) 返還の債務の当然免除

次のいずれかに該当した場合、返還の債務の免除を受けることができます。

ア　看護職員修学資金

- 卒業後、直ちに県内の対象施設において看護職員として業務に従事することとなり、かつ、引き続き５年間看護職員として在職したとき。ただし、卒業の日から起算して１年以内に免許を取得した場合に限る。
- 在職期間中に業務上の理由により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため解雇されたとき

イ　看護職員特別修学資金

- 卒業後、直ちに県内（鹿児島市を除く）の対象施設において助産師（又は看護師）として業務に従事することとなり、かつ、引き続き３年間助産師（又は看護師）として在職したとき。ただし、卒業の日から起算して１年以内に免許を取得した場合 に限る。
- 在職期間中に業務上の理由により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため解雇されたとき

(7) 返還の債務の裁量免除

次のいずれかに該当した場合、返還の債務の一部免除を受けることができます。

- 免許を取得した後、県内の対象施設等において看護職員として在職した期間が通算して修学資金の貸与を受けた期間に相当する期間以上となったとき。
- 死亡し、又は心身に著しい障害を生じたことにより修学資金を返還することができなくなったとき

(8) 返還

次のいずれかに該当した場合、返還事由が生じた日の属する月の翌月の末日までに一括して返還しなければなりません。

ア　看護職員修学資金

- 貸与契約が解除されたとき
- 卒業後、直ちに県内の対象施設において助産師（又は看護師）としての業務に従事しなかったとき
- 県内の対象施設において助産師（又は看護師）として業務に従事した後死亡し、又はその業務に従事しなくなったとき
- 卒業の日から起算して１年以内に免許を取得しなかったとき

イ　看護職員特別修学資金

- 貸与契約が解除されたとき
- 卒業後、直ちに県内（鹿児島市を除く）の対象施設において助産師（又は看護師）としての業務に従事しなかったとき
- 県内（鹿児島市を除く）の対象施設において助産師（又は看護師）として業務に従事した後死亡し、又はその業務に従事しなくなったとき
- 卒業の日から起算して１年以内に免許を取得しなかったとき

(9) 返還の猶予

次のいずれかに該当した場合、手続きをするとその理由が継続する期間、修学資金の返還が猶予されます。

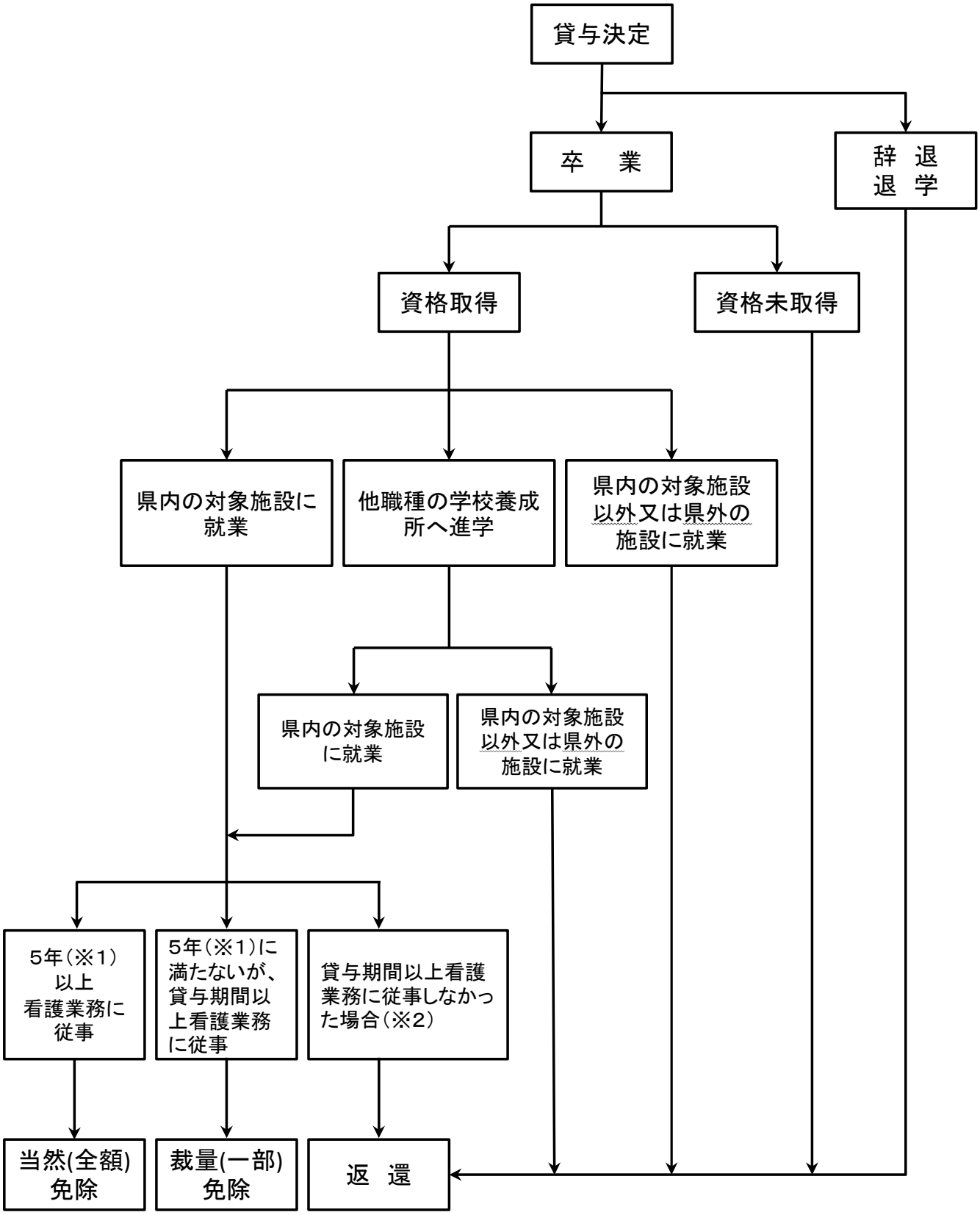
- 県内の対象施設等において看護職員として在職しているとき
  （ただし、卒業後１年以内に免許を取得した場合に限る。）
- 卒業後更に他種の看護職員を養成する学校又は養成所に在学しているとき
  （看護職員特別修学資金を除く。）
- 災害、病気その他やむを得ない理由により、修学資金を返還することが困難であると認められるとき又は業務に従事できないとき

お　願　い

修学生の皆さんは、この制度の目的を正しく理解され、６ページ以降の説明をよく読んで、卒業後、返還や返還免除の手続が完了するまでの間に必要な手続（申請、届出等）を忘れることのないようにしてください。

この手引きはすべての手続が終了するまで大切に保管してください。

修学資金に係る手続きフロー図



※1特別修学資金は3年
※2県内の対象施設から
　県外の施設に就業場所を
　変更した場合も含む。

各種手続き・届出について

この修学資金は、修学生のみなさんが、卒業後に返還していただくのが原則ですが、県内の対象施設へ就職又は進学した場合の返還猶予制度や、対象施設に一定期間勤務した場合の返還免除制度などがあります。

免除等を受けるためには、自ら申請、届出を行う必要があり、手続きを行わなければ、返還を命じられますので、修学資金の目的や、制度を良く理解し、適切な時期に必要な手続きを必ず行ってください。

【共通事項】

・在学中（学校養成所卒業まで）における手続きは、学校養成所経由で行ってください。
・様式の指定があるものは、手引の 13 ページ以降の様式をコピーして使用してください。

（様式には、第〇号様式・別紙第〇号の２種類あります）

・様式の指定がないものは、その内容を含んだものを、各自作成してください。（サイズはＡ４にそろえること）
・郵送にて関係書類を提出する場合は、封筒の表面に「看護職員修学資金手続書類在中」と朱書きしてください。

［書類提出先］
鹿児島県保健福祉部医師・看護人材課看護係
〒890－8577　鹿児島市鴨池新町 10 番１号
ＴＥＬ（099）286-2736（直通）

Ⅰ　各種手続き

1　在学中における手続き

在学中、毎年提出しなければならない書類及び提出期限は、次のとおりです。

①　提出書類
・学業成績証明書（＊前学年度末におけるもの）
・借用証書【第４号様式】（＊前年度に貸与を受けた分）

②　提出期限
毎年４月１５日（土日祝に当たる場合は、翌日）

2　卒業時における手続き

(1)　返還猶予に関する手続き

返還の猶予を受けるため、次の書類を提出する必要があります。

① 提出書類

・借用証書【第４号様式】（＊前年度に貸与を受けた分）

・看護職員修学資金等返還猶予申請書【第７号様式】

・看護職員業務開始届【別紙第５号】

・免許証の写し又は登録済証明書の写し（＊登録済証明書の写しを提出した者は、免許証の交付があった際は、直ちに写しを送付すること）

② 提出期限

卒業した年の４月１５日（土日祝に当たる場合は、翌日）

３ 就業中における手続き

(1) 返還の債務の当然免除に関する手続き

返還免除を受ける際（卒業後、直ちに看護職員として対象施設に就業し、引き続き５年（特別修学資金３年）在職したとき）は、次の書類を提出する必要があります。

① 提出書類

・看護職員修学資金等返還免除申請書【第５号様式】

・在職証明書【別紙第９号】（複数の施設で就業した場合は、現在就業している施設のもの）又はその他理由を証明する書類

・免許証の写し

② 提出時期

返還免除の要件を満たした後、速やかに提出

(2) 返還の債務の裁量免除に関する手続き

返還の一部免除を受ける際は、次の書類を提出する必要があります。

① 提出書類

・看護職員修学資金等返還免除申請書【第５号様式】

・看護職員修学資金等返還明細書【第６号様式】

・在職証明書【別紙第９号】（複数の施設で就業した場合は、現在就業している施設のもの）又はその他理由を証明する書類

・免許証の写し

② 提出期限

返還事由が生じた日から起算して 10 日以内

(3) 返還に関する手続き

返還事由が生じた時（退職、対象外施設へ就業場所変更等）は、次の書類を提出する必要があります。

① 提出書類

・看護職員修学資金等返還明細書【第６号様式】

・在職証明書【別紙第９号】（複数の施設で就業した場合は、現在就業している施設のもの）又はその他理由を証明する書類

② 提出期限

返還事由が生じた日から起算して 10 日以内

※ 返還方法：一括返還

・ 自宅に納入通知書を送付しますので、最寄りの金融機関で納付してください。

・ なお、正当な理由がなく、納入期限までに納付がない場合は、納入期限の翌日から返還の日までの期間の日数に応じ、返還すべき額につき年 14.5 パーセントの割合で計算した延滞利息をお支払いいただくこととなりますので、納入期限は厳守してください。

(4) 返還猶予に関する手続き（卒業時以外）

返還の猶予を受ける必要が生じた時（災害、病気等やむを得ない理由により就業できなくなった場合）は、次の書類を提出する必要があります。

① 提出書類

・看護職員修学資金等返還猶予申請書【第７号様式】

・診断書など返還の猶予を受けることができる旨を証明する書類

② 提出時期

返還猶予を受ける必要が生じた後、速やかに提出

Ⅱ 届出関係 ※書類の提出は、事由が発生した場合、直ちに行うこと

1 在学中における届出

(1) 口座登録申出書【別紙第１号】

振込口座を変更する場合に提出が必要

(2) 住所・氏名変更届【別紙第２号】

氏名又は住所を変更した場合に提出が必要

(3) 休学等届【別紙第３号】

休学・復学、留年・留年後進級、退学又は停学の処分を受けた場合に提出が必要

なお、上記のうち、退学の場合は、返還の手続きを併せて行うこと。

(4) 保証人変更届【別紙第４号】
保証人が死亡し又は破産の宣告を受けた場合に提出が必要

(5) 看護職員修学資金等貸与辞退届【別紙第７号】
修学資金の貸与を辞退しようとする場合に必要
なお、返還の手続きを併せて行うこと。

(6) その他の届出
以下に該当する場合は、各事由の発生を証明する書類を提出すること。
・心身の故障のため修学の見込みがなくなったとき
・学業成績が著しく不良になったとき
・死亡したとき
・修学資金の貸与の目的を達成する見込みがなくなったとき

２　就業中における届出

重要

(1) **看護職員就業届【別紙第8 号】**
毎年４月１日時点における就業状況について**毎年4 月1 5 日までに**届けること。

(2) 住所・氏名変更届【別紙第２号】
氏名又は住所を変更した場合に提出が必要

(3) 看護職員就業場所変更届【別紙第６号】
就業先を変更した場合に提出が必要
なお、「在職証明書【別紙第９号】」（新・旧施設分）を併せて提出すること。

(4) 保証人変更届【別紙第４号】
保証人が死亡し又は破産の宣告を受けた場合に提出が必要

(5) 看護職員業務中止届【別紙第 10 号】
看護職員としての業務を中止した場合に提出が必要
なお、返還の手続きを併せて行うこと。ただし、返還の猶予を希望する場合は、猶予の手続きを行うこと。

参考事例

R ８．４ ： A看護専門学校に入学（看護職員修学資金※を借用）
※当然免除に看護職員として5年間（60月）の在職が必要。（特別修学資金は3年間）
R11．３ ： 同校卒業、看護師免許取得
R11．４ ： B病院（免除対象施設）に就職，５年間在籍（途中6カ月病気により休職）後、退職
R16．４ ： B病院退職後、直ちにC診療所（免除対象施設）に就職し、継続して勤務

年月	事　例	必要な届出・報告	提出書類
R8.4	・A看護専門学校入学 →（貸与決定）		
R9.4 R10.4	・2学年に進級 ・3学年に進級	定期報告	① 借用証書【第4号】 ② 学業成績表
R11.3 R11.4	・A看護専門学校卒業 ・看護師免許取得 ・B病院へ就職	（就業のため） 返還猶予の申請 R11.4～R16.3	① 返還猶予申請書【第7号様式】 ② 看護職員業務開始届【別紙第5号】 ③ 免許証の写し （間に合わない場合は、登録済証明書の写し） ④ 借用証書【第4号】
R12.4 R13.4 R14.4		定期報告 毎年4／1現在の就業状況を報告	① 看護職員就業届【別紙第8号】
R14.7	・病気のため6カ月間休職	（病気療養のため） 返還猶予の申請 R14.7～R14.12	① 返還猶予申請書【第7号】 ② 診断書
R15.1	・復職		
R15.4		定期報告	① 看護職員就業届【別紙第8号】
R16.4	・B病院を退職後，直ちにC診療所に就職 （就業場所変更）	就業場所変更の報告	① 就業場所変更届【別紙第6号】 ② 在職証明書【別紙第9号】
		定期報告	① 看護職員就業届【別紙第8号】
R16.10		返還免除の申請 （5年間勤務 →返還免除要件を満たす）	① 返還免除申請書【第5号】 ② 在職証明書【別紙第9号】 ③ 免許証の写し

※B病院在籍60月－B病院休職期間6月＋C診療所在籍6月＝60月

鹿児島県看護職員修学資金等貸与条例等に基づく提出書類一覧表

提出するとき		提出書類	様式	別紙	備考
随時	【結婚，引越等】 氏名又は住所を変更したとき	住所 氏名　変更届		2号	保証人の住所変更等も含む
	保証人が死亡し、又は、破産の宣告を受け、保証人を変更するとき	・保証人変更届		4号	
在学中	【進級時】 修学資金の継続貸与を申請するとき	・学業成績表 ・借用証書	4号		**毎年4月15日までに提出**
	振込口座を変更したとき	・口座登録申出書		1号	
	休学・復学、留年、留年後進級又は、退学、停学の処分を受けたとき	・休学等届		3号	退学の場合，「返還関係」を参照
	【進路の変更等】 修学資金の貸与を辞退しようとするとき	・看護職員等修学資金貸与辞退届		7号	「返還関係」を参照
	【助産師，看護師養成所へ進学時】 修学資金の返還の猶予を受けようとするとき	・看護職員等修学資金返還猶予申請書	7号		【添付書類】 在学証明書
	退学等の理由により修学資金の貸与を取り消されたとき	・借用証書 ・看護職員等修学資金返還明細書	4号 6号		「返還関係」を参照
	・心身の故障のため修学の見込みがなくなったとき ・学業成績が著しく不良になったとき ・死亡したとき ・修学資金の貸与の目的を達成する見込みがなくなったとき	左記の事由の発生を証明する書類			
卒業	卒業したとき	・借用証書 ・免許を取得したことを証明する書類	4号		ただし，免許を取得できなかった場合は「返還関係」を参照
就業中	【卒業後，直ちに】 県内の<u>対象施設</u>で就業を始めたとき	・看護職員等修学資金返還猶予申請書 ・看護職員等業務開始届	7号	5号	
	【卒業後，直ちに】 県内の<u>対象外施設</u>で就業を始めたとき	・看護職員等修学資金返還明細書 ・看護職員等業務開始届	6号	5号	
	【定期報告】 毎年4月1日現在の状況	看護職員等就業届		8号	**免除を受けるまで** **<u>毎年</u>4月15日までに提出**
	【職場の変更時】 就業先を変更したとき	・看護職員等就業場所変更届 ・在職証明書		6号 9号	・在職証明書は、新旧両方の施設のものが必要 ・新就業先が対象外施設であれば、「返還関係」を参照
	【退職等】 県内の対象施設で勤務しなくなったとき	・看護職員等業務中止届 ・看護職員等修学資金返還明細書 ・在職証明書	6号	10号 9号	・やむを得ない理由により、猶予を希望する場合、「猶予関係」を参照
	死亡したとき	左記の事由の発生を証明する書類			保証人が届出を行う

提出するとき			提出書類	様式	別紙	備考
猶予関係		【卒業→就業】 県内の対象施設に就業したとき	・看護職員等修学資金返還猶予申請書 ・看護職員等業務開始届	7号	5号	
猶予関係		【卒業→進学】 他種の看護学校（養成所）に在学しているとき	・看護職員等修学資金返還猶予申請書	7号		【添付書類】 在学証明書
猶予関係		【病気、出産等】 災害、病気その他やむを得ない理由により、修学資金を返還することが困難であると認められるとき又は業務に従事できないとき	・看護職員等修学資金返還猶予申請書	7号		【添付書類】 診断書またはその他理由を証明する書類
免除関係	全額免除	免許取得後引き続き義務年限以上勤務したとき	・看護職員等修学資金返還免除申請書 ・在職証明書	5号	9号	【添付書類】 ・免許証の写し ・その他理由を証明する書類
免除関係	全額免除	在職中業務上の理由により死亡し、又は業務に起因する心身の故障のため解雇されたとき				
免除関係	一部免除	免許取得後引き続き修学資金の貸与期間以上義務年限未満勤務したとき	・看護職員等修学資金返還免除申請書 ・看護職員等修学資金返還明細書 ・在職証明書	5号 6号	9号	
免除関係	一部免除	死亡し、又は心身に著しい障害を生じたことにより修学資金を返還することができなくなったとき				
返還関係		【対象外施設へ転職】 県外又は県内の対象外施設で就業したとき	・看護職員等修学資金返還明細書 ・在職証明書 ・看護職員等就業場所変更届	6号	9号 6号	【添付書類】 その他理由を証明する書類
返還関係		【退職等】 免許取得後引き続き修学資金の義務年限以上勤務しなかったとき	・看護職員等修学資金返還明細書 ・在職証明書	6号	9号	
返還関係		【看護職以外に就職等】 貸与の取り消しを受けたとき又は卒業後直ちに勤務しなかったとき	・看護職員等修学資金返還明細書	6号		
返還関係		【免許未取得】 卒業後1年以内に免許がとれなかったとき	・看護職員等修学資金返還明細書	6号		
返還関係		死亡したとき	・看護職員等修学資金返還明細書 ・在職証明書 ・左記の事由の発生を証明する書類	6号	9号	保証人が届出を行う

【留意事項】

・学校養成所卒業までは、学校養成所経由で届出を行ってください。

・用紙を規定してあるものは、次ページからの様式をコピーして使用してください。
（用紙には、第〇号様式・別紙第〇号の2種類あります）

・用紙を規定していないものは、その内容を含んだものを、各自作成してください。
（大きさ　A4）

第４号様式

	年度
	貸与決定 番　　号

修　学　資　金　借　用　証　書

１　借用金額　　一金　　円也（月額　　円）

２　貸与期間　　年　　月から　　年　　月まで

看護職員修学資金等貸与条例に基づき、上記のとおり借用しました。ついては、同条例の規定に従い相違なく返還します。

なお、連帯保証人は、返還の債務については、本人と連帯して債務を負担します。

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

本　　人　住　所（〒　　－　　）

氏　名

電話番号

連帯保証人　住　　所（〒　　－　　）
（父母・法定代理人等）

氏　　名

電話番号

連帯保証人　住　　所（〒　　－　　）

氏　　名

電話番号

記入例

第４号様式

実際に下記金額の貸与を受けた年度を記入→	**令和〇〇**　　年度
６桁の貸与番号を必ず記入→	貸与決定 番　　号

修　学　資　金　借　用　証　書

金額の修正不可　※訂正印無効※

↓　　↓

１　借用金額　　一金　**借用総額**　円也（月額　**月額の金額**　円）

２　貸与期間　　**令和〇〇**　年　**４**　月から　　**令和△△**　年　**３**　月まで

ただし、貸与期間が年度の途中や辞退をした場合は、その対象となる貸与期間を記入すること。

看護職員修学資金等貸与条例に基づき、上記のとおり借用しました。ついては、同条例の規定に従い相違なく返還します。

なお、連帯保証人は、返還の債務については、本人と連帯して債務を負担します。

年　　月　　日　　**←県への提出日を必ず記入**

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

本人の自筆であること

本　　人　住　　所（〒　**９９９－９９９９**　）
鹿児島県鹿児島市△△△町〇〇－〇
氏　　名　　**鹿児島　花子**
電話番号　**携帯番号**（あれば固定電話も記入する）

連帯保証人（父母・法定代理人等）　住　　所（〒　**９９９－９９９９**　）
鹿児島県鹿児島市〇〇〇町××－××
氏　　名　　**鹿児島　太郎**
電話番号　　**０９９－×××－××××**

連帯保証人　住　　所（〒**９９９－８８８８**）
鹿児島県霧島市〇〇町△△９９９－００
氏　　名　　**鈴木　〇〇郎**
電話番号　　**０９９５－００－９９９９**

第５号様式

看護職員修学資金等返還免除申請書

貸　与　者　氏　名		貸与決定 番　　号	
貸　　与　　総　　額	円		
返　還　未　済　額	円		
免除を受けようとする額	円		
貸　　与　　期　　間	年　　月から 年　　月まで　（　　月間）		
助産師 看護師　籍登録年月日 准看護師	年　　月　　日		
対象施設等において 業務に従事した期間	年　　月から 年　　月まで　（　　月間）		

上記のとおり（　　）の返還の債務の免除を申請します。

年　　月　　日

（〒　　－　　）

住　　所

氏　　名

鹿児島県知事　　殿

記　入　例

第５号様式

看護職員修学資金等返還免除申請書

貸　与　者　氏　名	**鹿児島　花子**	貸与決定番　号	**６桁の貸与番号を記入**
貸　与　総　額	**貸与総額を記入**　円		
返　還　未　済　額	**上記貸与総額と同じ金額を記入**　円		
免除を受けようとする額	**上記貸与総額と同じ金額を記入**　円		
貸　与　期　間	**令和□□**　年　**□□**　月から **令和△△**　年　**△△**　月まで　（**貸与総月数**　月間）		
助産師 看護師　籍登録年月日 准看護師 **←取得した資格を○で囲む**	**令和　○○**　年　**○○**月　**○○**　日		
対象施設等において業務に従事した期間	**令和◇◇**　年　**◇◇**　月　**◇◇**　日から　（　**総月数**　月間） **令和××**　年　**××**　月　**××**　日まで		

上記のとおり（**借りた修学資金名を記入する**）の返還の債務の免除を申請します。

・看護職員修学資金もしくは、
・看護職員特別修学資金

年　　月　　日　**←県への提出日**

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市○○○町○○－○○**

氏　　名　**鹿児島　花子**

鹿児島県知事　　殿　**←県知事名を必ず記入する。**

第６号様式

看護職員修学資金等返還明細書

<table>
<tr><td>貸　与　者　氏　名</td><td colspan="2"></td><td>貸与決定番号</td><td></td></tr>
<tr><td>貸　　与　　期　　間</td><td colspan="4">年　　月から
年　　月まで　（　　月間）</td></tr>
<tr><td>上記期間中貸与を受けなかった期間</td><td colspan="4">年　　月から
年　　月まで　（　　月間）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">要　返　還　額</td><td colspan="2" rowspan="2">円</td><td>貸与総額</td><td>円</td></tr>
<tr><td>返還免除額</td><td>円</td></tr>
<tr><td>返　還　の　理　由</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>返還の理由が生じた日</td><td colspan="4">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>返　還　期　日</td><td colspan="4">年　　月　　日</td></tr>
</table>

看護職員修学資金等貸与条例に基づいて貸与を受けた修学資金は、上記明細書のとおり返還します。

年　　月　　日

（〒　　－　　）

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（〒　　－　　）

勤務先住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

鹿児島県知事　　殿

第６号様式　**記 入 例**

看護職員修学資金等返還明細書

貸　与　者　氏　名	**鹿児島　花子**	貸与決定番号	**６桁の貸与番号**
貸　与　期　間	**令和〇〇**年　**〇〇**　月から **令和××**年　**××**　月まで	（**貸与総月数**　月間）	
上記期間中貸与を受けなかった期間	**休学等により貸与を受けなかった期間があれば記入す**　年　月から 年　月まで	（　　月間）	
要　返　還　額	**（貸与総額ー返還免除額）**　円	貸与総額	**貸与総額**　円
		返還免除額	**免除額があれば記入**　円
返　還　の　理　由	**返還の理由を記入**		
返還の理由が生じた日	**令和〇〇**　年　**△△**　月　**△△**　日		
返　還　期　日	**令和□□**　年　**□□**　月　**□□**　日		

看護職員修学資金等貸与条例に基づいて貸与を受けた修学資金は、上記明細書のとおり返還します。

年　　月　　日**←県への提出日を必ず記入**

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

氏　　名　**鹿児島　花子**

電話番号　**携帯番号（あれば固定電話も記入する）**

（〒**０００－００００**）

勤務先住所　**鹿児島県鹿児島市△△△町△△ー△△**

勤務先名称　**医療法人　〇〇会　〇〇〇病院**

電 話 番 号　**０００－０００－００００**

鹿児島県知事　　殿**←知事名を必ず記入**

第７号様式

看護職員修学資金等返還猶予申請書

<table>
<tr><td>貸　与　者　氏　名</td><td colspan="2"></td><td>貸与決定
番　　号</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">返　還　未　済　額</td><td rowspan="3">円</td><td>貸 与 総 額</td><td colspan="2">円</td></tr>
<tr><td>返 還 済 額</td><td colspan="2">円</td></tr>
<tr><td>返還免除額</td><td colspan="2">円</td></tr>
<tr><td>助産師
看護師　籍登録年月日
准看護師</td><td colspan="4">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>対象施設等における
開　始　年　月　日</td><td colspan="4">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>猶予を受けようとする
期　　間</td><td colspan="4">年　　月から　　年　　月まで</td></tr>
<tr><td colspan="5">災害、病気その他を理由とする場合はその理由</td></tr>
</table>

上記のとおり、（　　）の債務の履行を猶予してください。

年　　月　　日

（〒　　－　　）

住　　所

氏　　名

電話番号

（〒　　－　　）

勤務先住所

勤務先名称

電 話 番 号

鹿児島県知事　　殿

第７号様式 **記 入 例**

看護職員修学資金等返還猶予申請書

貸　与　者　氏　名	**鹿児島　花子**	貸与決定番　　号	**６桁の貸与番号を必ず記入**
返　還　未　済　額	**貸与総額**　　円	貸与総額	**貸与総額**　　円
		返還済額	**0**　　円
		返還免除額	**0**　　円
助産師 看護師　籍登録年月日 准看護師	**令和○○**　年　**○○**　月　**○○**　日		
対象施設等における開　始　年　月　日	**令和××**　年　**××**　月　**××**　日		
猶予を受けようとする期　　間	**令和△**　年　**△△**　月から　**令和□**　年　**□□**　月まで		
災害、病気その他を理由とする場合はその理由 **猶予申請の理由を記入**			

取得した資格を○で囲む

返還済額・返還免除額がある人はその金額を記入する

上記のとおり、（　**借りた修学資金名を記入する**　）の債務の履行を猶予してください。

・看護職員修学資金もしくは、
・看護職員特別修学資金

年　　月　　日**←県への提出日を記入**

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市○○○町○○－○○**

氏　　名　**鹿児島　花子**

電話番号　**携帯番号（あれば固定電話も記入する）**

（〒**０００－００００**）

勤務先住所　**鹿児島県鹿児島市×××町××－××**

勤務先名称　**医療法人　○○会　○○○病院**

電 話 番 号　**０００－０００－００００**

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

別紙第1号

口 座 登 録 申 出 書

年　　月　　日

貸与決定番号	

貸与者氏名	フリガナ	印	
住所			
電話番号			
金融機関名			
支店(支所)名			
預金種目	1.　普通預金　　2.　当座預金		
口座番号			
口座名義人氏名	フリガナ		

＊貸与者本人の口座に限ります。

空ページ

別紙第２号

住　所
氏　名　変　更

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　第　　号

（〒　　－　　）

住　所

ＴＥＬ

氏　名

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり変更しましたのでお届けします。

記

１　新　住　所

氏　名

２　旧　住　所

氏　名

３　変更年月日　　年　　月　　日

本人　・　保証人	※変更対象の方に〇をしてください。

別紙第２号　**記 入 例**

変更内容を〇で囲む

住　所
氏　名　変　更

県への提出日を必ず記入→ 年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

貸与決定番号　第　　号

（〒**０００－００００**）

住　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

ＴＥＬ　**携帯番号（あれば固定電話も記入する）**

氏　名　**鹿児島　花子**

生年月日　　年　　月　　日生　**←和暦で記入**

下記のとおり変更しましたのでお届けします。

記

１　新　住　所　**新しい住所を記入（ビルなどの建物名も必ず記入すること）**

氏　名　**新しい氏名を記入**

２　旧　住　所　**旧住所［県に届出の住所］を記入**

氏　名　**旧氏名（旧姓）［県に届出の氏名］を記入**

３　変更年月日　　年　　月　　日　**←変更が発生した日を記入**

本人　・　保証人　　※変更対象の方に〇をしてください。

変更対象者（本人もしくは保証人）を〇で囲んで下さい

別紙第３号

休　　学　　等　　届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　　第　　号

（〒　　－　　）
住　　所

ＴＥＬ

氏　　名

下記のとおり（休学・復学・留年・留年後進級・退学・停学）しましたのでお届けします。

記

事由発生年月日	年　　月　　日
理　　由	
修学資金貸与期間	年　　月分から　　年　　月分まで
修学資金貸与金額	

上記のとおり相違ないことを認めます。

年　　月　　日

学校養成所名

学校養成所長名　　印

別紙第３号　**記 入 例**

休　学　等　届

県への提出日を必ず記入→　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

6桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　第　　号

（〒**000－0000**）

住　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇－〇〇**

ＴＥＬ　**携帯番号（あれば固定電話も記入する）**

氏　名　**鹿児島　花子**

対象の休学理由を〇で囲む

下記のとおり（休学・復学・留年・留年後進級・退学・停学）しましたのでお届けします。

記

事由発生年月日	**令和〇〇**　年　**〇〇**　月　**〇〇**　日
理　由	**休学の理由**
修学資金貸与期間	**令和××**　年　**××**　月分から　**令和△△**　年　**△△**　月分まで
修学資金貸与金額	**貸与金額**

上記のとおり相違ないことを認めます。

休学等を学校が決定した日→　年　　月　　日

学校養成所名　**〇〇〇〇看護学校**

学校養成所長名　**〇〇〇　〇〇〇**　　印

別紙第４号

保　証　人　変　更　届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　　第　　号

（〒　　－　　）

住　　所

Ｔ　Ｅ　Ｌ

氏　　名

学校養成所名

下記のとおり保証人を変更したのでお届けします。

記

新保証人	住　　所	
	電話番号	
	氏　　名	
	生年月日	年　　月　　日生　続柄（　　）
旧保証人	住　　所	
	電話番号	
	氏　　名	
	生年月日	年　　月　　日生　続柄（　　）
保証人を変更する理由		

別紙第４号　**記入例**

保　証　人　変　更　届

県への提出日を必ず記入→　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

６桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　第　　号

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市○○○町○○ー○○**

Ｔ　Ｅ　Ｌ　**携帯番号（あれば固定電話も記入する）**

氏　　名　**鹿児島　花子**

学校養成所名　**○○○看護学校**

下記のとおり保証人を変更したのでお届けします。

記

新保証人	住　　所	**新しい保証人の住所を記入**
	電話番号	**新しい保証人の携帯電話（あれば固定電話も記入）**
	氏　　名	**新しい保証人名を記入**
	生年月日	**和暦で記入**年　　月　　日生　続柄（　**続柄**　）
旧保証人	住　　所	**現在の保証人の住所を記入**
	電話番号	**現在の保証人の電話番号を記入**
	氏　　名	**現在の保証人名を記入**
	生年月日	**和暦で記入**年　　月　　日生　続柄（　**続柄**　）
保証人を変更する理由		**保証人を変更した理由を記入**

別紙第５号

看護職員業務開始届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　　第　　号

（〒　　－　　）

住　　所

ＴＥＬ

氏　　名

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり看護職員の業務を開始したのでお届けします。

記

１　種　　別	
２　業務開始年月日	年　　月　　日
３　免許取得年月日	年　　月　　日
４　勤務施設名	

上記のとおり相違ないことを認めます。

年　　月　　日

勤務施設名

所　在　地

施設長名　　印

記 入 例

別紙第５号

看護職員業務開始届

県への提出日を必ず記入→ 年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

６桁の貸与番号を必ず記入→ 貸与決定番号　第　　号

（〒**０００－００００**）

住　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

ＴＥＬ　**携帯電話（あれば固定電話も記入する）**

氏　名　**鹿児島　花子**

生年月日　　年　　月　　日生　**←和暦で記入**

下記のとおり看護職員の業務を開始したのでお届けします。

記

１　種　　別	**看護師等の種別を記入**
２　業務開始年月日	**令和〇〇** 年　**〇〇** 月　**〇〇** 日
３　免許取得年月日	**令和××** 年　**××** 月　**××** 日
４　勤務施設名	**医療法人　〇〇会　〇〇〇病院**

上記のとおり相違ないことを認めます。

年　　月　　日　**←勤務施設の記載日を記入**

勤務施設名　**医療法人　〇〇会　〇〇〇病院**

所　在　地　**鹿児島県鹿児島市×××町××ー××**

施設長名　**〇〇〇　〇〇〇**　　印

別紙第６号

看護職員就業場所変更届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　第　　号

（〒　　－　　）

住　　所

ＴＥＬ

氏　　名

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり看護職員の就業場所を変更したのでお届けします。

記

旧　就　業　場　所	
就　業　期　間	年　　月　　日から 年　　月　　日まで
新　就　業　場　所	
就　業　期　間	年　　月　　日から 年　　月　　日まで

添付書類……新、旧施設の発行する在職証明書（別紙第９号）を添付のこと。

記　入　例

別紙第６号

看護職員就業場所変更届

県への提出日を必ず記入→　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

６桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　第　　号

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

ＴＥＬ　**携帯電話（あれば固定電話も記入する）**

氏　　名　**鹿児島　花子**

生年月日　　年　　月　　日生　**←和暦で記入**

下記のとおり看護職員の就業場所を変更したのでお届けします。

記

旧　就　業　場　所	**医療法人 〇〇会　〇〇〇病院**
就　業　期　間	**和暦で記入**　年　月　日から 年　月　日まで
新　就　業　場　所	**医療法人 △△会　△△△病院**
就　業　期　間	**和暦で記入**　年　月　日から 年　月　日まで

添付書類……新、旧施設の発行する在職証明書（別紙第９号）を添付のこと。

別紙第７号

看護職員修学資金等貸与辞退届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　第　　号

（〒　　－　　）

住　　所

ＴＥＬ

氏　　名

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり修学資金を辞退したいのでお届けします。

記

辞退年月日	年　　月　　日
辞退理由	
修学資金 貸与期間	年　　月　　日から 年　　月　　日まで
修学資金 貸与金額	円

記入例

別紙第７号

看護職員修学資金等貸与辞退届

県への提出日を必ず記入→　　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

６桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　　第　　号

（〒**０００－００００**）

住　　所　**鹿児島県鹿児島市○○○町○○ー○○**

ＴＥＬ　**携帯電話（あれば固定電話も記入）**

氏　　名　**鹿児島　花子**

生年月日　　年　　月　　日生　**←和暦で記入**

下記のとおり修学資金を辞退したいのでお届けします。

記

辞退年月日	**辞退する日を和暦で記入**　年　　月　　日
辞退理由	**辞退理由を必ず記入する**
修学資金 貸与期間	**修学資金を受けていた期間を和暦で記入**　年　　月　　日から 年　　月　　日まで
修学資金 貸与金額	**貸与金額を記入する**　　円

別紙第８号

看 護 職 員 就 業 届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　第　　号

氏名

年４月１日における住所、職業、勤務先等を

下記のとおりお届けします。

記

住　所

TEL

職　業

勤務先名称

勤務先所在地

上記のとおり相違ないことを証明します。

年　　月　　日

施設名

施設長名　　印

別紙第８号　**記入例**

看 護 職 員 就 業 届

県への提出日を必ず記入→　　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

６桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　第　　号

氏名　**鹿児島　花子**

４月１日現在で、就業している年度（和暦）を記入（毎年必ず提出）

年４月１日における住所、職業、勤務先等を

下記のとおりお届けします。

記

住　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

TEL　**携帯電話（あれば固定電話も記入する）**

職　業　**職種（助産師・看護師・准看護師）を記入**

勤務先名称　**医療法人〇〇会　〇〇〇病院**

勤務先所在地　**鹿児島県鹿児島市△△△町△△ー△△**

上記のとおり相違ないことを証明します。

年　　月　　日　**←施設が証明した日を必ず記入**

施設名　**医療法人〇〇会　〇〇〇病院**

施設長名　**〇〇〇　〇〇〇**　　印

別紙第９号

在　職　証　明　書

現　　住　　所

氏　　名

生　年　月　日

在 職 期 間（ただし、看護職員として業務に従事した期間。育休等の休職期間を除く。）

年　　月　　日から

年　　月　　日まで

勤務先名称

勤務先所在地

上記のとおり　　として業務に従事したことを証明します。

年　　月　　日

施　設　名

施 設 長 名　　印

別紙第９号　**記 入 例**

在　職　証　明　書

現　　住　　所　　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

氏　　名　　**鹿児島　花子**

生　年　月　日　　**生年月日は和暦で記入**

在 職 期 間（ただし、看護職員として業務に従事した期間。育休等の休職期間を除く。）

年　　月　　日から

年　　月　　日まで

在職期間を和暦で記入

勤務先名称

勤務先の名称と所在地を必ず記入

勤務先所在地

職種(保健師・助産師・看護師)を記入

上記のとおり　　として業務に従事したことを証明します。

年　　月　　日　　**←在職証明書を記入した日**

施　設　名　　**医療法人〇〇会　〇〇〇病院**

施 設 長 名　　〇〇〇　〇〇〇　　印

別紙第10号

看護職員業務中止届

年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿

貸与決定番号　第　　号

（〒　　－　　）
住　所

ＴＥＬ

氏　名

生年月日　　年　　月　　日生

下記のとおり看護職員の業務を中止したのでお届けします。

記

最終就業先の名称及び所在地	
業務中止年月日	年　　月　　日
業務中止の理由	

添付書類……在職証明書（別紙第９号）

別紙第 10 号　**記 入 例**

看護職員業務中止届

県への提出日を必ず記入→　　年　　月　　日

鹿児島県知事　　殿　**←知事名を必ず記入**

6 桁の貸与番号を必ず記入→　貸与決定番号　　第　　号

（〒**０００－００００**）
住　　所　**鹿児島県鹿児島市〇〇〇町〇〇ー〇〇**

Ｔ Ｅ Ｌ　**携帯電話（あれば固定電話も記入する）**

氏　　名　**鹿児島　花子**

生年月日　　年　　月　　日生　**←和暦で記入**

下記のとおり看護職員の業務を中止したのでお届けします。

記

最終就業先の名称及び所在地	**最後に勤務した就業先名称を記入**
	上記、就業先の所在地を記入
業務中止年月日	年　　月　　日 **看護師等としての業務を中止した日を記入**
業務中止の理由	**業務を中止した理由を必ず記入**

添付書類……在職証明書（別紙第９号）

お　ぼ　え

貸与決定年月日　　年　　月　　日

決定番号

氏名

生年月日

住所

入学年月日

卒業年月日

学校養成所名

番号

免許取得年月日　　年　　月　　日　　種類

勤務先　　就職年月日　　年　　月　　日

勤務先住所　　ＴＥＬ

返還猶予年月日　　年　　月　　日

免除予定年月日　　年　　月　　日

①保証人氏名

①保証人住所　　ＴＥＬ

②保証人氏名

②保証人住所　　ＴＥＬ

修 学 資 金 受 領 覚 え

月	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年	
	受領年月日	金額	受領年月日	金額	受領年月日	金額
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
1						
2						
3						

月額　　円

借用期間　　年　　月　　日から

　　年　　月　　日まで　　か月

借用金額　　円

連絡先及び書類提出先

〒890-8577　鹿児島市鴨池新町１０－１

鹿児島県保健福祉部
医師・看護人材課　看護係

ＴＥＬ　０９９（２８６）２７３６
メール　imukango@pref.kagoshima.lg.jp

令和８年10月印刷